

2021年12月20日

投資家の皆さまへ

アムンディ・ジャパン株式会社

弊社ファンドの基準価額下落について

トルコでは年初来インフレ率が上昇しており、11月には20%を大きく上回りました。しかしながら9月以降、政策金利が相次いで引き下げられたことなどから市場の信頼感が悪化し、トルコリラの下落基調が続いています。12月16日には同国のエルドアン大統領がかねてから主張していた通り、利下げが決定されました。9月以降4度目の利下げで、トルコ中央銀行は当面の利下げ余地がなくなったことを示唆しました。しかし、大統領が発表した最低賃金の50%引き上げはインフレをさらに加速させる恐れがあり、通貨への信頼性は一段と低下しました。トルコリラは利下げ決定後から日本時間17日朝までに6%前後対ユーロで下落、また、日本時間17日午後にはさらに下落が加速しています。

このような状況を受け、以下の弊社ファンドの基準価額（12月17日）は前日比5%以上の下落となりました。

基準価額および前日比騰落幅・騰落率（2021年12月17日現在）

ファンド名	基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）＜年2回決算型＞	5,136	-287	-5.29
アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）	963	-53	-5.22
アムンディ・リソな米国ハイ・イールド債券ファンド（トルコリラコース）	1,432	-77	-5.10

決算日に該当したファンドについて

- ・騰落率・騰落幅については、分配金を加算した基準価額を用いて計算した数値を表示しています。
- ・基準価額は、分配金落ち後の基準価額を表示しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

当資料に関してご留意いただきたい事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。また、投資信託は預貯金とは異なります。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際は投資信託説明書（交付目論見書）・契約締結前交付書面をよくご覧ください。

<ご注意>

上記に記載しているリスクにつきましては、一般的な投資信託を想定しております。投資信託に係るリスクは、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【当資料のご利用にあたっての注意事項等】

当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社（以下、弊社）が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料の作成にあたり、弊社は情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載した弊社の見通し、予測、予想、意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また当資料に記載した弊社の見通し等は将来の景気や株価等の動きを保証するものではありません。

<1964036>